

2010年1月1日～2023年4月30日の間に 当科で唾液腺穿刺吸引細胞診を受けられた方及びご家族の方へ

「末梢性顔面神経麻痺の原因別治癒率の検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 准教授 福田 裕次郎

1. 研究の概要

末梢性顔面神経麻痺をきたす疾患は多岐にわたりますが、そのうち60～70%がBell麻痺、10～15%がRamsay Hunt症候群（Hunt症候群）といわれています。Bell麻痺はHSV-1、Hunt症候群はVZVが膝神経節で再活性化することによりウイルス性の神経炎が生じ、脱髄をきたすことで麻痺を生じます。末梢性顔面神経麻痺の治癒率は原因によって差があると報告されていますが、治癒までにかかる期間に関する詳細な報告は少ない現状です。

そこで今回、末梢性顔面神経麻痺における原因別の治癒率や治癒期間を検討することで、同疾患の予後予測の一助となすことを目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年1月1日～2023年4月30日の間に川崎医科大学附属病院耳鼻咽喉・頭頸部外科において末梢性顔面神経麻痺の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間の該当する方で、研究者が診療情報をもとに末梢性顔面神経麻痺の原因別治癒率を分析します。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、原疾患、表情運動スコア、ENoG値、罹患期間、治療法等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学実験室内で保存させていただきます。外部に未接続の研究用パソコンに匿名化したデータを保存します。実験室は情報管理者が常駐しており、不在時には施錠されています。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年9月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

氏名：福田 裕次郎

電話：086-462-1111 内線 44508（平日：9時00分～17時00分）

E-mail：yfukuda@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。